

この地に住みたいと羨まれる都城に

地域おこし協力隊員として8月と9月、新たに二人が着任しました。移住定住の促進を支援する鮫島真理さん（奈良県大和郡山市出身・写真左）は「都城を知ってもらい、来てもらい、そして将来的に住んでもらうために、積極的に情報を発信していきたい」と力を込めます。また、まちなか再生を支援する川畑千代さん（兵庫県尼崎市出身・同右）は「これまでに培ったグラフィックデザインなどの知識を生かして、さまざまな企画をしていきたい」と地域おこしへの意気込みを話していました。



地域おこし協力隊員が新たに着任

川のおもしろさと大切さを学ぶ

河川環境の大切さを学ぶ「大淀川子どもサミット」が8月21日、下沖水橋河川敷のせせらぎ水路公園で開催されました。約180人の子どもらが参加。河川のごみに関するクイズや魚のつかみ取り、大淀川に自生する水生生物の調査などの体験を通して、楽しみながら、水辺の環境の大切さを学んでいました。大塚彩乃さん（大王小5年）は「川の濁り具合の調べ方など、勉強になった。いつまでもきれいな川を守るために、ごみを捨てないよう、みんなに呼び掛けたい」と話していました。



大淀川子どもサミット

きれいな川をいつまでも

いきいき大淀川クリーン大作戦が8月21日、神柱公園周辺で開催されました。「小さな親切」運動都城支部が毎年実施するこの取り組みに、市内の企業や学校、公共団体など約50団体・千人が参加。参加者らは、公園内を流れる年見川の堤防の草刈りや、ごみ拾いなどの清掃活動に汗を流していました。



いきいき大淀川クリーン大作戦

森で学ぼう、つくろう、楽しもう

NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会が主催する夏の環境教室が8月27日、どんぐり村（上水流町）で開催されました。子どもらは、ロープを使って木に登ったり、竹で水鉄砲を作ったりして、自然を満喫。また「ネイチャーゲーム」では、森の生き物に触れながら、自然への学びを深めていました。



どんぐり村「夏の環境教室」

みんなで描くカラフルなチーター

絵本作家・高島那生さんによる読み聞かせとワークショップが8月28日、市立図書館で開催されました。絵本に親しむきっかけにしておうと市立図書館が企画。ワークショップでは、高島さんが参加者らの描いた模様を柄にしたチーターの絵を描き上げ、子どもらは目を輝かせて見入っていました。



高島那生さんおはなし会とワークショップ

住民が連携して災害に備える

都城市合同防災訓練が8月28日、山田総合支所を中心に実施されました。大雨により、地区全域で土砂災害の危険が高まったとの想定で、各自治公民館の代表や消防団、陸上自衛隊など約400人が参加。参加者らは、応急救護訓練や避難所運営などの体験を通して、防災への意識を高めていました。市の海田英昭危機管理課長は「多くの人に参加してもらい、有意義な訓練になった。今後も日ごの訓練の大切さと、自助と共助の重要性を広めていきたい」と話していました。



都城市合同防災訓練

感謝の気持ちを込めて

敬老の日を前に、長寿祝い湯飲みの窯出し作業が8月29日、吉之元町の都城焼窯元霧島工房で行われました。市内最高齢の篠原サカエさん（108歳・志比田町）と、今年度100歳を迎える65人に贈られる長寿祝い湯飲み。同窯元の宇都野晃さんが、名前と寄贈する年月などを一つ一つ丁寧に書き、約1カ月かけて焼き上げました。この取り組みを38年続けている宇都野さんは「今の日本の繁栄は、先輩たちのおかげ。感謝の気持ちを込めて、これからも贈り続けたい」と額に汗を浮かべていました。



長寿祝い湯飲み窯出し

「大相撲都城場所」開催間近!

新市誕生10周年記念事業の大相撲都城場所が12月11日(日)、早水公園体育文化センターで開催されるのを前に、日本相撲協会の玉ノ井親方（元大関栃東）が9月2日、市長を表敬訪問しました。「都城場所は13年ぶり。大相撲の醍醐味を伝えたい」と話していました。観覧チケットは、現在販売中です。



玉ノ井親方が市長を表敬訪問

雅な風情を味わうひととき

5節句の一つである重陽の節句に合わせて、「のちの雛展」が、9月3日から18日まで、旧後藤家商家交流資料館で開催されました。同館所蔵のひな人形などを趣向を凝らして展示。着物の帯で作られたひな人形を前に、来場者らは「帯がまるで本物の人形のように」と感嘆の声を上げていました。



重陽の節句「のちの雛展」

個性あふれるフリーペーパーが集結

全国各地のフリーペーパーを展示する催しが9月3日から18日の期間、市立図書館で開催されました。街歩きガイドや趣味の紹介など、よりすぐりのフリーペーパー1500誌を展示。期間中は、市内外からも多くのファンが来場し、お気に入りの一冊を手にとっていました。



全国フリーペーパー展



美術家

五十川 いそがわ

和彦

さん



風景

探求の先にある、自分の創作を極める

木々の生い茂る荘厳な神社宮と、にぎやかな子どもらの笑い声がこだまする神社公園の近くにアトリエを構え、創作に励んでいるのが、五十川和彦さん（荻蒲原町）です。

五十川さんは、県内在住の将来性豊かな美術家を発掘し、1年間海外へ派遣する「第19回県美術海外留学賞」を受賞。自分のスタイルを探しに現代アートの都、ドイツベルリンへ留学し、今年3月に帰国しました。

五十川さんが美術家を志したのは、高校の美術部で絵を描くことに喜びを覚えたことがきっかけ。「大学進学の際、市内で自分に合う指導者が見つからず、高校卒業後は大阪や東京の美術予備校へ進み、東京藝術大学、大学院へと進学。気付けば30歳だった」と時間を忘れ、美術に打ち込んだ学生時代を懐かしみます。

その後、帰郷し、宮崎市内の高校の芸術学科で教壇に立ちました。「意欲的な生徒に教えるのは楽しかったが、自分の創作活動とのバランスに悩んでいた」と当時を振り返ります。そして、今回の受賞を機に教職を辞め、ベルリンへと赴きました。

街中に現代美術が溢れるベルリン。「ギャラリーが至る所に点在し、さまざまな刺激を受けた。それまで自分の中にあつた創作アイデアも大きく影響を受けた。ベルリンに集ま



る個性的な芸術家との交流も、新しい自分の模索につながっている」と留学中の体験からも、次々にアイデアを生み出している五十川さん。

今年5月、市内にアトリエ兼美術教室を開き「持ち前のスタイルに、新しい感性が吹き込まれ、これまでにない創作の方向性を見い出せることが楽しい」と、さまざまな素材を使いながら、湧き出す情熱を表現しようとして、日々キャンバスに向います。

大学進学の際、苦勞した五十川さん。「自分が経験した進学時の悩みや、2度の留学で見聞してきたことを、市内で美術を志す後進の成長のために役に立てたい」と力を込めていました。

つなぐ 都城の匠たち

Vol.4

都城の技「都城木刀（県指定の伝統的工芸品）」

今回は、全国で生産される木刀の約9割を占める
都城木刀を紹介します。



都城木刀の始まり

本市は、質実剛健・文武両道の言葉が残る土地柄で、古くから武術の鍛錬のため木刀が用いられてきました。

檜材の柄木作りが盛んだった本市。本格的な木刀作りは、大正初期から始まりました。そして、昭和59年、県の伝統的工芸品に指定されました。

一刀に心を込める

木刀は剣道や居合道、合気道の流派により、形状が異なります。その制作は大きく9つの工程に分かれ、木取から線引き、機械による荒仕上げを経て、手鉋を使い仕上げられます。

線引きで木刀の長さや厚さなど寸法を決めると、木刀の反り加減や肉付、峰の型、柄の握り具合などを考えながら、20種類にもおよぶ手作りの手鉋を使い、絶妙な手加減で仕上げていきます。

職人技、極まる

市内で活躍する都城木刀の県の伝統工芸士は5人。新留義昭さん（年見町）もその一人で、この道44年の匠です。さまざまな形状に加えて、使い手ごとに重心の位置やバランス、手触りなど好みにも応じる新留さん。巧みな手鉋裁きで、峰などの直線や刀身の優雅な曲面を削り出していきます。

外国産との価格競争の中、確かな技術力で伝統を守っています。



◎問い合わせ みやこんじょPR課 ☎23-2615



盆地生まれの元気をいただきます!



カミカミ 巾着

一日に5皿の 野菜料理を食べよう!

※一人分217Kcal、塩分1.2g



千切り大根は、生の大根に比べて、カルシウムを多く含みます。カルシウムは骨を形成し、ナトリウムを排泄して血圧の上昇を防ぎます。また、干しシイタケに含まれるビタミンDは、カルシウムの吸収を促します。

●材料(4人分)

千切り大根	20g	A	シイタケ戻し汁、
ひじき(乾燥)	3g		カツオだし…合せて300cc
干しシイタケ	2、3枚		砂糖
ニンジン	20g		薄口しょうゆ
卵	1個		みりん
油揚げ(正方形)	8枚		小ネギ

●下準備

千切り大根…かぶる程度の水で戻し、水気を切る
ひじき…たっぷりの水に10分～15分つける
干しシイタケ…水につけて戻し、薄切りにする
油揚げ…熱湯をかけ油抜きをする。箸などを転がし油分を抜き、1辺を切り落として袋状にする

●作り方

- ①千切り大根、ニンジンを食べやすい大きさに切り、シイタケとひじき、溶き卵と混ぜる。油揚げに詰めて、つまようじで口を閉じる
- ②Aを火にかけ、沸騰したら①を入れる。中火で15分煮て火を止め、煮汁を含ませ、小ネギを散らす



乾物類は水に戻すと膨らむので、詰める具の量は少なめに。保存期間が長く便利な上に、よくかむことで食べ過ぎも防げます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765